

温室効果ガス削減目標を定める中小企業版 SBT 認定を取得

大平洋ランダム株式会社（社長：薄田 新一郎、本社：富山）は、温室効果ガス排出量削減目標について、SBTi (Science Based Targets Initiative) より中小企業版 SBT (Science Based Targets: 科学的根拠に基づく排出削減目標) の認定を取得しました。



SBTi は、WWF、CDP (旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)、世界資源研究所 (WRI)、国連グローバル・コンパクトによる共同イニシアティブであり、パリ協定の目標達成（地球温暖化を産業革命以前の水準から 2°C未満に抑制し、1.5°Cに抑制する努力をする）に向けて、企業に対し、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出量削減目標を設定することを推進しています。

温室効果ガス削減目標

排出区分	区分の定義	2030年目標
Scope1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出 (燃料の燃焼、工業プロセス)	温室効果ガス排出量 (Scope1+2) を 2018 年比で 50%削減します
Scope2	他社から供給された電気、熱・蒸気の 使用に伴う間接排出	
Scope3	事業者の活動に関連する他社の排出	排出量を算定し削減に努めます

大平洋ランダム株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、『みんなの行動でこの地球をさわやかに』のスローガンの下、「カーボンニュートラル」達成に向けて、工場使用電力の再生可能エネルギーへの転換の他、省エネ設備の導入等の省エネ活動の推進により、温室効果ガス排出量の削減を行うと共に、全社一丸となって今後も地球環境保全活動に取り組んで参ります。

本件に関するお問い合わせ先

大平洋ランダム株式会社 工務部 江野 学

(担当: 吉本 e-mail: eng-dept@rundum.co.jp TEL: 076-438-1215)

個人情報については、当社個人情報保護方針に従ってお取り扱いをさせていただきます。